

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	神崎市立神崎中学校									
1 前年度 評価結果の概要	・道徳教育を中心に据え、「対話」を通した授業実践を行い、心の教育の推進を図ることができた。次年度は、家庭・地域とのつながりを通したさまざまな「対話」を取り入れ、「自己対話」の充実を課題として取り組んでいく。 ・学習状況調査の結果から、学力向上においては十分なところまでは至らなかった。そこで、共通した朝学習の取り組み、各教科における小テストや単元テストの実施、めあての提示の工夫、タブレットの有効な活用に取り組み、学力の向上を図っていく。 ・今後もいじめの早期発見や交通事故ゼロに取り組んでいくとともに、交通マナーやルールの遵守が全体に浸透するよう、家庭や地域とも連携を図りながら取り組んでいく。									
2 学校教育目標	「純美にしてファイトに富む学校」 ～信頼・温もり・ユーモア神中～ ～気づき・考え・行動する～									
3 本年度の重点目標	①心の教育の推進 ②学力向上 ③行事を通した進路指導・キャリア教育の充実									
4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・主体的に学習に取り組む態度と知識・技能の習得に向けた取り組み	○「スキルタイムに意欲的に取り組んだか」に肯定的な生徒80%以上	・知識・技能の習得に向けたスキルタイムの実践(生徒会学習委員の活動を生かした取り組み)							学力向上対策コーディネーター
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●「道徳の授業で学んだことを、日頃の生活に生かしていると思う」に肯定的な回答をした生徒80%以上。	・道徳科の授業においては、他者との対話活動も行うが、特に振り返り(自己内対話)の時間を重視する。 ・道徳アンケートの実施。							校内研究推進 人権・同和教育 道徳教育
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●いじめや差別をなくすよう行動している生徒が90%以上 ●安全・安心に学校生活が送れている生徒が90%以上	・毎月生活アンケートを実施し、相談しやすい雰囲気作りに努める。 ・昼休みの校内巡回を通して、問題行動の未然防止を図る。							生徒指導主事
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上	・行事などにおいて、「出番」「役割」「承認」の機会を多く作り出し、過程に焦点を置き、認められる環境づくりに努める。 ・直接話を聞いたり、体験したりする機会を設けることで進路指導の充実を図る。 ・授業間の引継ぎを確実に行う。							進路指導主事 特別活動担当
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒95%以上	・出前セミナーなどを活用し、食についての知識を深めさせ、食事を見直す機会を設ける。 ・給食を通して、望ましい食習慣を身に付けられるよう指導する。							給食指導担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・会議資料のデジタル化による会議時間と会議資料準備の短縮に努める。 ・掲示板機能を生かした業務の可視化に努め、見通しをもった業務遂行を目指す。 ・長期休業を中心に、年休の取得計画を立てて前年以上の年休取得を推進する。							管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育に関する専門性が向上した」と回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有							特別支援教育コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言	
○学力向上に向けた取組みの推進	○標準化されたアセスメントに基づき、適切に生徒の実態を把握し、生徒の学習スタイル確立に向けた支援の在り方などの指導方法を検討・工夫する。	○「スキルタイムに意欲的に取り組んだか」に肯定的な生徒80%以上 ○「Marks:スタディ・ログを活用することによって学力が向上した」に肯定的な生徒70%以上	・スキルタイムの実施 ・Marks:スタディ・ログの活用 ・教研式ETの実施および分析 ・「学び方」教室の実施							
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・ 次年度への展望										